

(朝日地区)

令和2年度の地域包括支援センターの活動と課題について (自由記載)

<総合事業／介護予防・生活支援サービス事業>

●元気応援あさひ教室 (デイサービスセンター羽衣委託)

9月～2月 計25回実施 運動栄養口腔の機能向上を目指し、約6か月の短期間で集中的に実施するサービス。コロナの影響もあり参加者が定員割れした。どのようにニーズのある住民を発掘し、効率的に教室参加につなげるかが課題である。

<総合事業／一般介護予防事業>

●元気クラブ (愛ランドあさひ委託)

9月～3月 計14回実施 脳の活性化を図る事業として実施。令和2年度いっぱい終了となる。

<包括的・継続的ケアマネジメント>

●介護支援専門員連絡会

事例検討会を企画したが、コロナで縮小となり計1回実施。知識技術を学ぶほか、事例検討の進め方の学習を目的とする。来年度も同内容で実施予定。

<生活支援体制整備事業>

●互近所ささえ～る隊関係

三面地区出前講座や共助による移動支援実験を行った。またささえ～る隊スタートから4年が経過し、それを一区切りとして活動をまとめた「4年間のあゆみ」という冊子を作成、関係者や朝日地区全戸に配布した。

R3年度の取り組み (自由記載)

<総合事業／介護予防・生活支援サービス事業>

●元気応援あさひ教室 (デイサービスセンター羽衣委託)

今年度は県モデル事業として実施する。委託先スタッフに先進地の取り組みやスキルを研修で学んでもらい、それを踏まえたプログラムを3か月の期間で提供する。(9月～3月・月4回・2クール)

<包括的・継続的ケアマネジメント>

●介護支援専門員連絡会

年に数回事例検討を行いケアマネジメントのスキルアップを図っていく予定だが、コロナの関係でグループワークが難しい状況が続く。

<生活支援体制整備事業>

●互近所ささえ～る隊関係

まちづくり協議会と連携しながら、ささえあいの仕組みの必要性の周知と当事者意識の醸成をすすめる。昨年度に続き移動支援実験を企画。スポーツクラブや運転ボランティア、社会福祉法人等と連携を図る。